

実践シンポジウム

会場
先着
48名

岡山に社会的処方を実装するには

狭くは介護予防対策、さらに広くは健康格差対策から地域共生社会づくりに至るまで、様々な地域課題への対処策として社会的処方が10年来注目されてきています。このシンポジウムでは元祖イギリスでの取り組みや、国内での取り組みの様子や、成果を紹介します。そして、もし岡山で導入するとなれば、1)診療場面で、患者の社会的処方のニーズや適応をどのようにして捉えるか、2)その相談に患者本人の主体性を尊重しながら乗るにはどうするか、3)どのようにしてつなぎ先を作ったり、発見したりできるかを地域の保健医療福祉の現場から提案してもらいます。さらに、4)これを実現するための専門職や行政の次の一手は何かを地域情報も知っているものの、今は第三者の立場から提案してもらいます。最後に、岡山で実装するのに、それぞれの立場で何ができそうかを対話します。

2024年10月12日(土) 14:00~16:00

岡山県医師会館 4階 402会議室(岡山市北区駅元町19-2)

講演

総合司会:松岡 宏明(岡山市保健所 所長)

「社会的処方とは」

松岡 宏明(岡山市保健所 所長)

「こうすれば社会的処方のニーズや適応を

診療場面で把握できる」

光田 栄子(かとう内科並木通り診療所 医師)

「こんなふうに参加支援センターは相談に乗れます」

竹本 聡美(岡山市ふれあい公社 地域包括支援課 総センター長)

「つなぐ先は既に結構いっぱいあります」

片山 幸美(岡山市地域包括ケア推進課 副主査保健技師)

「社会的処方地域共生社会へ」

松岡 克朗(厚生労働省医政局医療経営支援課 課長補佐)

パネル・ダイアログ

「実装のためにできること・したいこと」

岡山県医師会プライマリ・ケア部会、岡山プライマリ・ケア学会合同研修会

実践シンポジウム

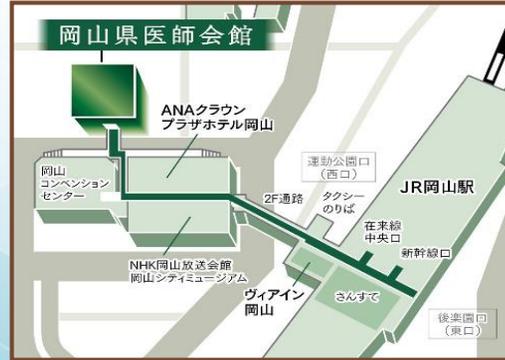
2024年10月12日(土) 14:00~16:00

岡山県医師会館 4階 402会議室(岡山市北区駅元町19-2)

〈日医生涯教育講座カリキュラムコード:CC.4(1単位)、CC.13(1単位)〉

- ・プライマリ・ケア専門医・認定医更新のための単位2単位(申請中)
- ・プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位1単位(申請中)

※岡山県医師会会員専用駐車場は
台数が限られております。
公共交通機関にてお越しくださいませ。



〈参加費〉

会員(岡山プライマリ・ケア学会、岡山県医師会)・・・無料
非会員・・・¥500— ※当日、受付時にご用意ください。

WEB参加の場合は、件名「実践シンポジウム」、氏名・所属・職種を記載の上、
送信をお願いします。送信先ML:gakkai@p-care-okayama.com

参加申込書 (岡山プライマリ・ケア学会事務局 FAX:086-251-6622)

| | | |
|-----|--|--|
| 氏名 | | |
| 所属 | | |
| 職種 | | |
| 連絡先 | | |

お問合せ先 岡山プライマリ・ケア学会事務局 (岡山県医師会内)TEL:086-250-5111